

浸水深マップ

おばさみいけ
尾狭池

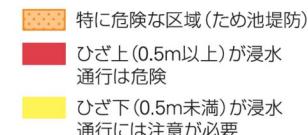
このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、尾狭池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

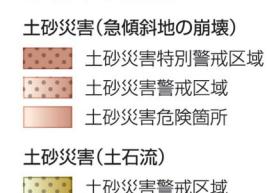
浸水の深さ



避難経路の安全性



ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



凡例



防災メモ

あなたの家で予想される浸水の深さはどれくらいですか?

- 3m以上 0.5~3mまで 0.5m未満

ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。

命を守るために

一時的に避難する場所※1

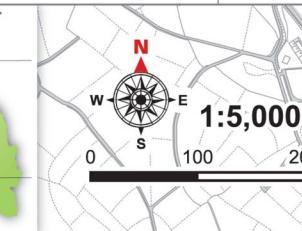
(例:近くの○○ビル、自宅2階)

避難所※2

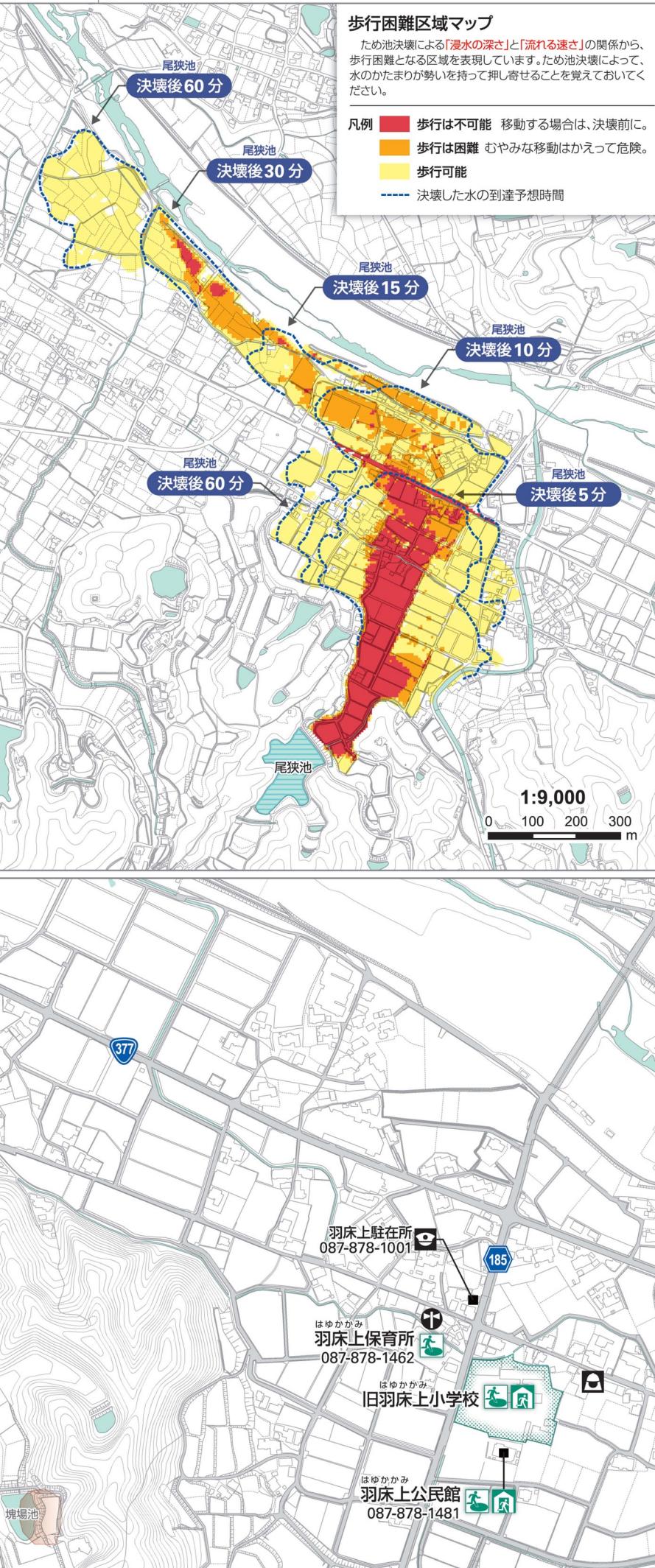
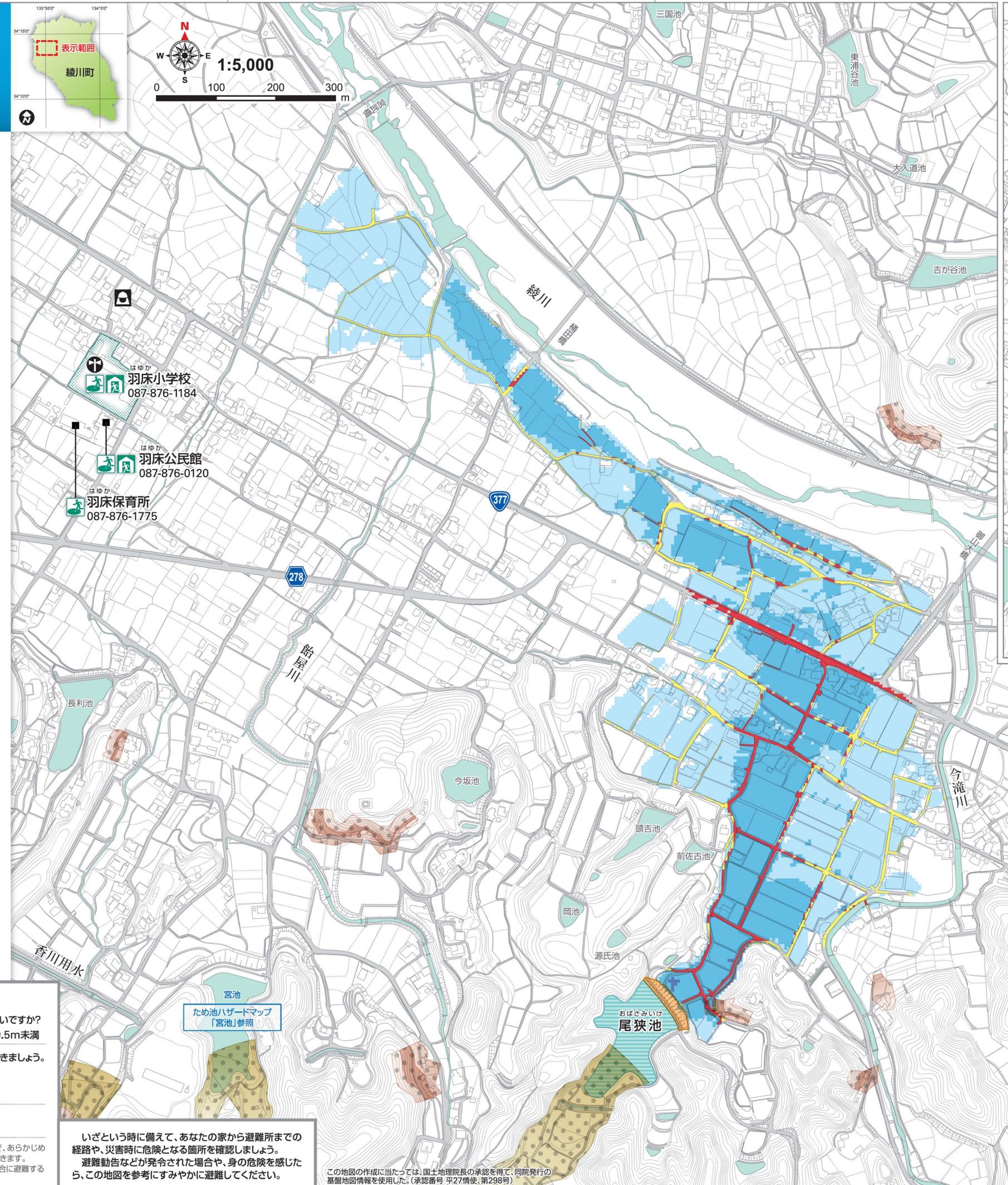
(例:○○小学校)

※1 緊急的に自身の身を守るために避難する場所で、あらかじめ自防災組織や町内会などで話し合って決めておきます。

※2 自宅が被害を受けたり被災を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。



1:5,000



歩行困難区域マップ

ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

凡例

- 歩行は不可能 移動する場合は、決壊前に。
- 歩行は困難 むやみな移動はかえって危険。
- 歩行可能
- 決壊した水の到達予想時間

尾狭池 決壊後60分

尾狭池 決壊後30分

尾狭池 決壊後15分

尾狭池 決壊後10分

尾狭池 決壊後5分

1:9,000

0 100 200 300 m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情便第298号)

A

B

C

D



ため池ハザードマップ【保存版】

おはさまいけ
尾狭池

RESERVOIR HAZARD MAP



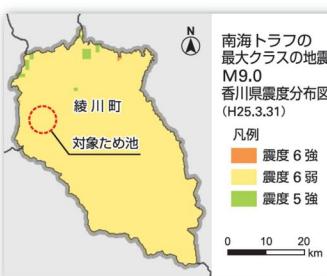
ため池決壊について知ろう

▶ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

本マップの対象たため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度6弱の揺れが予測されています。

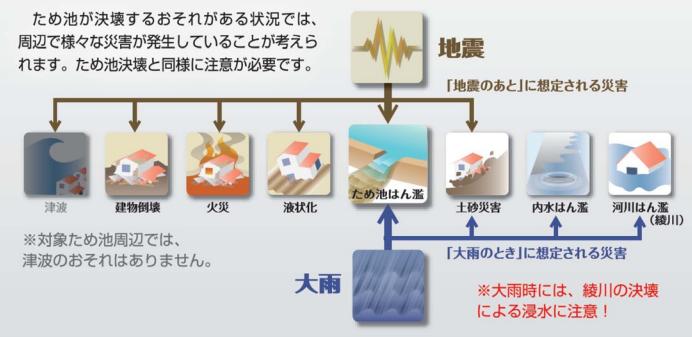
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



大雨

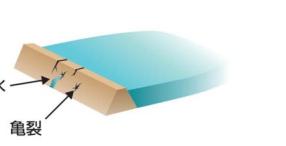
集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



▶ため池決壊の起り方と、その被害

①南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。
（地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。）



②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ため池決壊による被害

- 大量的な水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
 - 山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
 - 建物や車は押し流されます。
 - 道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。
- ※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

灾害事例

写真出典: Yahoo! JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト <http://archive.shinsei.yahoo.co.jp>

地震 - 福島県須賀川市 -

東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）による震度6弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名を出す被害となりました。



大雨 - 香川県 -

近年、香川県では大規模ため池の決壊による被害は出ていますが、未改修の中規模のため池を中心に、堤防に亀裂が入るなどの被害が出ています。

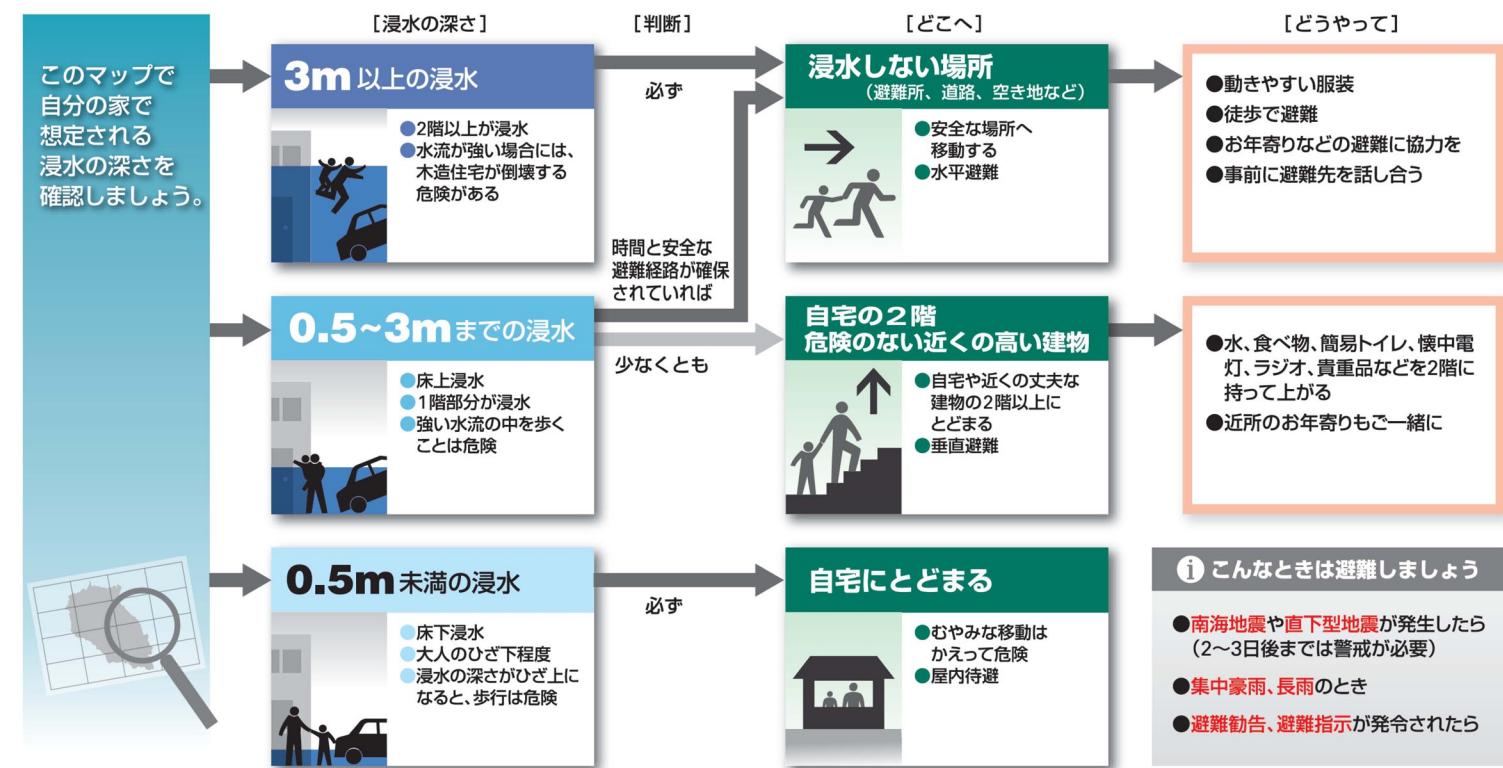
ひなん 状況に応じた避難をしよう



▶ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

命を守るために基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



よ 町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

▶避難情報を入手するときの注意事項

地震のあと

被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に自体に対応しましょう。

大雨のとき

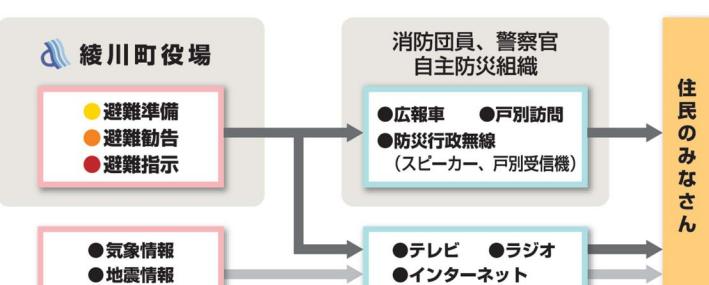
大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくいう場合があります。

テレビやラジオなどから自主的な情報収集を心がけましょう。



▶避難情報の伝達経路と内容

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。また、避難情報には、緊急度に応じて3つの種類（避難準備、避難勧告、避難指示）があります。



避難情報の種類	呼びかけ（例）	みなさんのとるべき行動
●避難準備	避難の準備をしてください。 今後の情報に注意してください。 体の不自由な人、高齢者の方は避難を始めてください。	●避難準備や情報収集をしてください。 ●必要に応じて自主避難をしてください。 ●避難に時間を要する方は、避難してください。
●避難勧告	○○地区に△△が発生するおそれがあります。 避難を始めてください。	●身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。
●避難指示	○○地区に△△が発生する危険があります。 ただちに避難してください。	●すぐに避難してください。 ●既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。